



2024年9月26日

各位

会社名 株式会社 I N G S  
代表者 代表取締役社長 青柳 誠希  
(コード番号: 245A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役経営管理部長 鈴木 建  
(TEL 03-6205-5039)

### 東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日2024年9月26日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2024年8月期(2023年9月1日から2024年8月31日まで)における当社の業績予想は、次のとおりです。また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【個別】

(単位: 百万円、%)

項目	決算期	2024年8月期 (予想)		2024年8月期 第3四半期累計期間 (実績)		2023年8月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率	対売上 高比率	
売上高		6,405	100.0	4,709	100.0	5,261	100.0
営業利益		439	6.9	333	7.1	283	5.4
経常利益		414	6.5	316	6.7	265	5.1
当期純利益		279	4.4	215	4.5	68	1.3
1株あたり 当期純利益		139円60銭		107円87銭		34円11銭	
1株あたり 配当金		0円00銭		—		0円00銭	

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
2. 当社は、2024年5月20日開催の取締役会決議に基づき、2024年6月18日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っておりますが、2023年8月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。
3. 2023年8月期(実績)及び2024年8月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。

## 【2024年8月期 業績予想の前提条件】

### 1. 当社の見通し

当社は、企業理念に「『幸せ』への挑戦～関わるすべての人と共に～」を掲げ、ラーメン事業による直営店の運営（直営店部門）及びプロデュース店へラーメン食材販売や店舗運営のノウハウ提供等（プロデュース部門）、並びにレストラン事業による直営店の運営（直営店部門）及びライセンス店へ「CONA」及び「焼売のジョー」のライセンス貸与（ライセンス部門）を展開しております。

当社の属する外食業界は、2020年からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出の自粛や、自治体からの営業時間短縮の要請、大人数での飲食を控える動きの広がりなどにより、需要が減少したものの、2022年3月のまん延防止等重点措置解除による通常営業の再開等も踏まえ、市場は回復基調となり、加えて、当該感染症法上の位置づけが2023年5月より従来の2類から5類に引き下げられ、行動制限が収束したこと等も踏まえ、ラーメン業界の市場規模は2023年で4,385億円（出所：富士経済「外食産業マーケティング便覧2023 No. 1」）、レストラン事業に関連し、「居酒屋・炉端焼」市場の市場規模は2023年で1兆200億円まで増加する見込み（出所：富士経済「外食産業マーケティング便覧2023 No. 2」）となっており、その後も更なる市場規模の拡大が見込まれている状況にあります。また、これらいずれの市場においても、寡占化が進んでいない市場ということもあり、当社として今後のシェア拡大余地も十分にあるものと認識しております。

そのような中で、当社はコロナ禍においても強みである「複数ブランド及び、都市型、郊外型・ロードサイド、商業施設内といった複数店舗フォーマットで出店可能な店舗展開力」を基に、新規出店を継続してまいりました。引き続き新規出店による規模拡大を図る中で、2024年8月期末においては、直営店舗で62店舗、プロデュース及びライセンス店舗で101店舗の合計163店舗の体制を計画しております。

以上を踏まえ、2024年8月期末の業績において、売上高6,405百万円（前期比21.7%増）、営業利益439百万円（同55.1%増）、経常利益414百万円（同55.9%増）、当期純利益279百万円（同309.3%増）を見込んでおります。なお、2024年8月期の業績予想につきましては、2024年7月22日の取締役会で決議したものであり、2023年9月から2024年6月までの10ヶ月実績に、その時点における7月から8月までの見込を合算して算定しております。

### 2. 業績予想の前提条件

#### (1) 売上高

当社は、上述の通り、ラーメン事業による直営店部門及びプロデュース部門、並びにレストラン事業による直営店部門及びライセンス部門に分かれております。また、それぞれの事業における直営店部門につき、2024年8月期新規出店店舗売上高及び2023年8月期以前の出店済店舗売上高に分け、売上高を見込んでおります。

2024年8月期新規出店店舗売上高については、直営店で9店舗の新規出店を計画し、出店予定時期を想定した上で、既存の店舗をモデルにし、売上高を見込んでおります。

2023年8月期以前の出店済店舗売上高については、ラーメン事業、レストラン事業ともに、前年同月の曜日別の客数実績を基準に、価格改定のある店舗はその点を考慮し、客数に単価を乗じ

ることで売上高を算出しております。

ラーメン事業におけるプロデュース部門及びレストラン事業におけるライセンス部門につきましては、新規出店につき、純増 12 店舗を見込んだ上で、食材販売については、前期の各店舗月次売上高実績を基準とし算出しております。加えて定められた月額フィー、開業支援料等を加算の上、売上高を見込んでおります。

以上を踏まえ、2024 年 8 月期における当社の売上高は 6,405 百万円(前期比 21.7%増)を見込んでおります。

## (2) 売上原価および売上総利益

直営店部門の売上原価については、主に材料費になりますが、前期実績を踏まえ、業態・店舗毎に原価率を設定、予測売上高に乗じることで算出をしております。また、ラーメン事業におけるプロデュース部門及びレストラン事業におけるライセンス部門の売上原価については、前期実績を基準とし、算出しております。

以上を踏まえ、2024 年 8 月期における当社の売上原価は 2,175 百万円(前期比 20.6%増)、売上総利益は 4,230 百万円(前期比 22.3%増)を見込んでおります。

## (3) 販売費及び一般管理費、営業利益

人件費については、本部及び直営店各店舗の必要社員数及び役職に応じた固定給を算出し、直営店舗においては、想定売上規模に応じたアルバイト人件費を設定の上、費用を織り込んでおります。なお、採用計画に対応する支給想定対象人数に基づき、賞与引当金を繰り入れております。

また、一部支払手数料や水道光熱費等の変動費については前年実績に基づき算出、固定費である地代家賃や支払報酬等については、各種契約等の内容に基づき算出をしております。

なお、2024 年 8 月期新規出店店舗については、モデルとした既存店舗の数値を参照しております。

以上を踏まえ、2024 年 8 月期における当社の販売費及び一般管理費は 3,791 百万円(前期比 19.4%増)、営業利益は 439 百万円(前期比 55.1%増)を見込んでおります。

## (4) 営業外損益、経常利益

営業外収益については、主に受取保険金や自動販売機関連手数料を当期実績に基づき反映、営業外費用については、主に上場関連費用、既存・新規借入想定を踏まえた支払利息、社債発行費償却の見込を算出しております。

以上を踏まえ、2024 年 8 月期における営業外収益は 5 百万円(前期比 22.9%増)、営業外費用は 29 百万円(前期比 38.9%増)、当社の経常利益は 414 百万円(前期比 55.9%増)を見込んでおります。

## (5) 特別利益、当期純利益

法人税等は利益計画に基づく課税所得見込を基に算出をしております。特別利益については、

主に固定資産売却益、店舗閉鎖損失引当金戻入額を当期実績に基づき反映、特別損失については、前期は店舗固定資産の減損損失として132百万円を計上しておりますが、当期は特段見込んでおりません。

以上を踏まえ、2024年8月期における当社の当期純利益は279百万円(前期比309.3%増)を見込んでおります。

**【業績予想に関するご留意事項】**

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

## 2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年9月26日

上場会社名 株式会社INGS 上場取引所 東  
コード番号 245A URL http://ingsinc.co.jp  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)青柳 誠希  
問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)鈴木 建 (TEL)03(6205)5039  
四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期第3四半期の業績（2023年9月1日～2024年5月31日）

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	4,709	-	333	-	316	-	215	-
2023年8月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	107.87	-
2023年8月期第3四半期	-	-

- (注) 1. 2023年8月期第3四半期は四半期財務諸表を作成していないため、2023年8月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
3. 2024年6月18日付で1株につき20株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	3,183	700	22.0
2023年8月期	2,892	484	16.7

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 700百万円 2023年8月期 484百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年8月期	-	0.00	-	-	-
2024年8月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,405	21.7	439	55.1	414	55.9	279	309.3	139.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）2024年8月期の業績予想（通期）における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響を考慮しております。株式分割の影響を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は2,791円73銭となります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年8月期3Q	2,000,000株	2023年8月期	2,000,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年8月期3Q	一株	2023年8月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年8月期3Q	2,000,000株	2023年8月期3Q	2,000,000株
------------	------------	------------	------------

(注) 2024年6月18日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	8
(重要な後発事象)	8



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関連した行動制限が収束し、感染症法上の位置づけが2023年5月より従来の2類から5類に引き下げられたこと、海外からの入国制限緩和等から、インバウンド消費もコロナ禍前を超えるような状況となっており、正常な経済活動に戻ってきている状況となっております。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、円安の影響によるエネルギーコスト及び原材料価格の高騰、それに伴う物価の上昇など、景気の動向は依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する外食業界におきましては、経済正常化に伴う人流回復により、客数は引き続き回復傾向にある一方で、上述の原材料及びエネルギー価格の上昇や労働力不足に伴う人件費の上昇、円安の進行等、引き続き厳しい経済環境が継続している状況となっております。このような状況の下、当社は、原材料高等を踏まえメニューの変更や、価格の見直し、店舗運営におけるオペレーションの見直し等を行いながら、対応を図っております。

#### (ラーメン事業)

ラーメン事業におきましては、「らぁ麺 はやし田」町田店、新秋津店並びに浅草店及び「日本油党」町田支部の4店舗をオープンしており、合計30店舗となりました。油そばブランドの「日本油党」については、渋谷総本部に次いで2店舗目の新規出店となります。

その他、売上高対策として、一部店舗の営業時間を延ばしたことで、また、サイドメニューのコスト削減等を取組みとして行っております。そのような中、既存店売上高は前年同期比で103.6%の結果となりました。

プロデュース展開は、新規で13店舗がオープンしておりますが、6店舗閉店もあり、合計66店舗となりました。なお、出店エリアにつき、兵庫県、石川県、愛知県で初出店となっており、引き続き、地方での展開が広がっている状況となっております。

この結果、ラーメン事業の売上高は2,409,388千円、セグメント利益は249,276千円となりました。

#### (レストラン事業)

レストラン事業におきましては、直営店では、「CONA」にて津田沼店及び「焼売のジョー」にて八王子店の2店舗が新規オープンしており、「CONA」では合計18店舗、「焼売のジョー」では合計11店舗となりました。

なお、ライセンス店では、「CONA」で1店舗閉店があり、合計26店舗、「焼売のジョー」は増減なく、合計3店舗となっております。

その他取り組みとしましては、「CONA」では2月末の値上げに加え、CONA恵比寿店の昼時間帯で営業をしている「YAMADA PASTA」においても3月に値上げを行っております。また、「焼売のジョー」では、一部店舗において、ハッピーアワーにおける商品価格の調整を行いながら、売上の向上及び原価のコントロールを図っております。そのような中、既存店売上高は前年同期比で111.5%の結果となりました。

この結果、レストラン事業の売上高は2,299,857千円、セグメント利益は84,354千円となりました。

#### (全社)

上記の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高4,709,245千円、営業利益333,630千円、経常利益316,750千円、当期純利益215,738千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、現金及び預金が169,876千円増加、新規出店に伴い建物（純額）が126,723千円増加、敷金及び保証金が45,497千円増加した一方で、建設仮勘定の建物等への振替等により有形固定資産のその他（純額）が24,818千円減少、償却によりのれんが67,724千円減少したことなどにより、3,183,988千円（前事業年度末比291,395千円の増加）となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、1年内返済予定の長期借入金が59,108千円、長期借入金が146,519千円、未払法人税等が54,081千円、賞与引当金が32,087千円増加したものの、社債が83,000千円、流動負債のその他が19,936千円、固定負債のその他が109,684千円減少したことなどにより、2,483,895千円（前事業年度末比75,657千円の増加）となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、四半期純利益215,738千円を計上したことにより700,093千円（前事業年度末比215,738千円の増加）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の通期業績予想につきましては、本日公表いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年 8 月 31 日)	当第 3 四半期会計期間 (2024年 5 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	666,441	836,317
売掛金	122,739	140,221
原材料及び貯蔵品	16,063	19,447
その他	113,171	141,878
貸倒引当金	△891	△621
流動資産合計	917,524	1,137,243
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	851,756	978,480
その他（純額）	95,736	70,918
有形固定資産合計	947,493	1,049,398
無形固定資産		
のれん	451,499	383,774
その他	109,447	95,613
無形固定資産合計	560,947	479,388
投資その他の資産		
敷金及び保証金	334,077	379,575
その他	123,896	133,509
投資その他の資産合計	457,974	513,085
固定資産合計	1,966,415	2,041,871
繰延資産合計	8,652	4,874
資産合計	2,892,593	3,183,988

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	186,238	213,290
短期借入金	10,000	—
1年内償還予定の社債	121,000	101,000
1年内返済予定の長期借入金	318,027	377,135
未払法人税等	19,737	73,818
賞与引当金	29,955	62,043
店舗閉鎖損失引当金	8,376	—
その他	327,060	307,124
流動負債合計	1,020,395	1,134,411
固定負債		
社債	123,000	40,000
長期借入金	931,578	1,078,097
資産除去債務	131,408	139,214
その他	201,855	92,171
固定負債合計	1,387,842	1,349,484
負債合計	2,408,237	2,483,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	474,355	690,093
株主資本合計	484,355	700,093
純資産合計	484,355	700,093
負債純資産合計	2,892,593	3,183,988

## (2) 四半期損益計算書

第 3 四半期累計期間

(単位：千円)

	当第 3 四半期累計期間 (自 2023年 9 月 1 日 至 2024年 5 月 31 日)
売上高	4,709,245
売上原価	1,602,221
売上総利益	3,107,023
販売費及び一般管理費	2,773,392
営業利益	333,630
営業外収益	
受取手数料	785
受取補償金	835
保証金回収益	500
受取保険金	1,029
その他	508
営業外収益合計	3,659
営業外費用	
支払利息	14,635
社債発行費償却	3,778
その他	2,125
営業外費用合計	20,539
経常利益	316,750
特別利益	
固定資産売却益	8,000
資産除去債務戻入益	3,189
店舗損失引当金戻入額	4,975
特別利益合計	16,165
税引前四半期純利益	332,915
法人税、住民税及び事業税	122,054
法人税等調整額	△4,877
法人税等合計	117,177
四半期純利益	215,738

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	ラーメン 事業	レストラン 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,409,388	2,299,857	4,709,245	—	4,709,245
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,409,388	2,299,857	4,709,245	—	4,709,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,409,388	2,299,857	4,709,245	—	4,709,245
セグメント利益	249,276	84,354	333,630	—	333,630

(注) 1. セグメント利益の合計額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により、各報告セグメントへ配賦しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. その他

## (重要な後発事象)

## (株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2024年5月20日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更について決議いたしました。

## 1. 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

## 2. 株式分割の概要

## (1) 株式分割方法

2024年6月18日(火曜日)を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき20株の割合をもって分割いたします。

## (2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	100,000株
今回の分割により増加する株式数	1,900,000株
株式分割後の発行済み株式総数	2,000,000株
株式分割後の発行可能株式総数	8,000,000株

## (3) 株式分割の日程

基準日公告日	2024年5月31日(金曜日)
基準日	2024年6月17日(月曜日)
効力発生日	2024年6月18日(火曜日)

## (4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、該当箇所に記載しております。

## 3. 定款の一部変更

## (1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2024年6月18日をもって、当社の定款第6条の発行可能株式総数を変更しております。

## (2) 定款変更の内容

変更の内容は、以下のとおりであります。(下線部分が変更箇所となります)

変更前定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条当会社の発行可能株式総数は、 <u>400,000</u> 株とする。	(発行可能株式総数) 第6条当会社の発行可能株式総数は、 <u>8,000,000</u> 株とする。

## (3) 定款変更の日程

効力発生日：2024年6月18日(火曜日)